

御厨三十三観音巡礼報告書

報告者 後藤隆徳

年月日 2009年11月19日(木)

回数 第1回

参加者 16名

- 巡礼寺・順 ●二番札所 庚申寺(こうしんじ)・御殿場
- \* 本尊・青面金剛
  - \* 山号・玉蓮山
  - \* 宗派・曹洞宗(宝寺院末寺)
  - \* 草創・天保十年(1839年)
- \* 庚申寺は市救急センター(保健センター)の裏側にあつて、光明院と共に当時としては足柄街道に沿つた繁華街?に位置していたと思われる。
- \* 本尊の「青面金剛」は、悪病を流行させる神と言われ、この神を祀ることによつて、病魔から逃れる事を願つた。
- \* 昔は毎年正月の申(さる)の日には、領主の代参もあり、盛大な祭典を行つたという。御開帳は60年に一度で、最近では昭和57年(1982)頃あつた。
- \* 無住職
- 一番札所 光明院(こうみょういん)・御殿場
- \* 本尊・阿弥陀如来
  - \* 山号・
  - \* 宗派・(仁杉大乘寺末寺)
  - \* 無住職
- \* この寺は明治19年に近火で焼失し、有志の寄付で再建された。寺に保存してある三十三観音像は軸装(掛軸)で、織成仏で五体ずつ、六段五色の糸で織りなされ、大きさは横約66センチ、縦約150センチ。江戸時代のもので、県重要文化財級の観音像であると言われている。
- 三番札所 慶寿庵(けいじゅあん)・北久原
- \* 本尊・正観世音菩薩
  - \* 山号・
  - \* 宗派・宝寺院末寺
  - \* 草創・

\* 無住職

\* 本堂入口に比較的新しい「六地藏」(六道において衆生の苦しみを救うという六種の地藏)。年数回近所のお年寄りが念仏講を行う。

●四番札所 大乘寺 (だいじょうじ)・仁杉

\* 本尊・正観世音菩薩

\* 山号・廣智山

\* 宗派・浄土宗

\* 草創・

\* 住職・神谷高義

\* 寛政年間(1790年)火災で記録を焼失。今の本堂は天明5年(1783年)に再建。本尊の正観音菩薩は、研究者によれば信州・善光寺の本尊と作者が同じと言われる。

●五番札所 龍福寺 (りゅうふくじ)・水土野

\* 本尊・正観世音菩薩

\* 山号・

\* 宗派・

\* 草創・

\* 住職・無住職

\* このお寺は水土野公民館内にある。公民館は基本的に閉まっているので、区長等に連絡し開けてもらう。

●六番札所 阿弥陀堂 (廃寺)・須走

\* 本尊・千体仏像(但唱作)大雲院に現存

\* 山号・

\* 宗派・

\* 草創・

\* 住職・無住職

\* 寺は須走浅間神社内にあったとされるが、現在は全く分からない。

●七番札所 香積寺 (こうせきじ)・須走

\* 本尊・千手観音

\* 山号・向富山

\* 宗派・曹洞宗

\* 草創・扶天曇佐和尚(本寺四世)

\* 住職・無住職

\* 開創年月不詳、開基(開山)扶天和尚(示寂寛文7年7月26日)爾後十二世瑞仙和尚に至る。明治初年村民神葬祭に改めたため廃寺となる。仏像・什器は本寺大雲院へ移された。

\* 富士道者の信仰道場、住持は道者を伴い浅間神社で登拝道中安全を祈願した。

距離 約1.5 Km+0.5 Km+2 Km+2 Km+2.5 km+4.5 Km  
m (上り)+0.5 Km=約13.5 Km

タイム 御殿場駅発8:45-庚申寺9:15-光明院9:45~10:00-  
慶寿庵10:50~11:00-大乘寺11:40~13:00(昼食・  
休憩)-龍福寺13:35~13:40-浅間神社阿弥陀堂14:40  
-香積寺15:00~15:10-御胎内温泉-御殿場駅

温泉 御殿場・御胎内温泉 平日=800-

経費 なし

参考資料 関口霧岳著「御厨観音横道巡礼 霊場めぐり画文集」  
名所・旧跡(御厨札所)・御厨観音横道札所HP

第1回御厨巡礼。天気は良くない。下土狩をバスで出発。裾野市役所、富士岡と乗り継いで御殿場駅着。ここで御殿場方面の方と合流。

自己紹介の後、「御厨観音横道巡礼・霊場めぐり画文集」の著者の関口霧岳氏が来てくれて、御厨巡礼の概要など話してくれた。氏の画文集を何人か購入し、これにご朱印を捺印することとした。

御殿場駅を出発。市内を通りまはらずは、二番札所・庚申寺に向かう。入り口を



二番札所・庚申寺

御殿場中学校門柱



見落として行き過ぎてしまったので、ついでに「御殿場発祥の地」と言われる、

吾妻神社・穂見神社見学をした。

ここから裏道を少し戻って庚申寺着。無住職なので外でお勤めを済ませます。ここは「青面金剛」を祀っているが、中は窺うことは出来なかった。

再び足柄街道に出て、一番札所・光明院に向かう。ここは距離がないので、すぐ到着。雨が降って来た。



一番札所・光明院



閻魔大王像

ここも無住職なので外でモタモタしていると、近所の方でここを管理している、鎌野さんが来てくれ鍵を開けてくれた。鎌野さんは、たまたま地区の道路工事の立ち合いで寺入口にいて気づいてくれた。

本堂には阿弥陀如来像と珍しい閻魔大王像があった。

お寺で閻魔大王を見たのは初めて。  
閻魔大王とは・・・？

阿弥陀如来像



閻魔(えんま)は仏教・ヒンドゥー教などで地獄の主。また神とも。冥界の王・総司として死者の生前の罪を裁くと考えられる。

日本では地藏菩薩と同一の存在と解され、これは地藏菩薩の化身ともされている。

(関連HPより)

鎌野さんに礼を言って退所。話をすると退職した会社で一緒だった仲間のご親戚だった。ありがとうございました。



寒い小雨の中、三番札所・慶寿庵に向かう。西田中を通り246バイパスを渡り南に向かうと大きな浅間神社がある。地区の方が交替で掃除をしていると出て来た。三番札所・慶寿庵はこのすぐそば。



慶寿庵



近くの夫婦道祖神

ここも無住職なので外でお勤めを済ます。  
雨は相変わらず降っている。晴れていればこの辺から富士山が素晴らしいのだが・・・。

R138号沿いの田園風景の中を西に上がる。仁杉に来ると立派な四番札所・大乘寺に着く。住職は午後から用事があり出掛けるが、私たちが待っていてくれた。優しい温かい住職だった。

立派な本堂に上がり忙しくお勤め。雨は相変わらず降っていたが、バスの中



大乘寺



正観世音菩薩

で昼食とする。外は寒い雨だがバスの中は温かくてありがたい。昼食後、しばし昼寝。

13:00、再び巡礼開始。まずR138を更に西行し、五番札所・龍福寺に向かう。龍福寺は現在、寺はなく水野土（みどの）地区の公民館内に「水野戸観音集会所」として正観世音菩薩を祀っている。従って、お勤めを行うには地区に頼んで公民館を開けて貰う必要がある。

そこで出発前、公民館管理人に電話したら私には判断出来ないで、区長に連絡してくれと電話番号を教えてくれた。で、区長に電話したら、私には分からないので、老人会に聞いてくれと電話番号を教えてくれた。しかし、この時私の中で何かがプツリと切れてしまった……。 (勿論、喧嘩をやった訳ではありませんが。も～、イヤって感じ!) その程度判断出来ない管理人・区長って、アンター体、何なのさ?? (宇崎竜童風に)

基本的にこの辺の方は、「優しさ・思いやり・温かさ」が欠如しているのではないかと思った次第……。結局、龍福寺（公民館）の玄関口でお勤めとなった。まあ、いろいろあらアな～。



水野土公民館



再びR138を西上し須走・浅間神社に向かう。R138は除々に傾斜を増し歩行は遅れ気味。この頃から雨は小康状態になる。

陸上自衛隊・富士学校前を通過し須走・浅間神社に入る。久しぶりに訪れたが立派な神社である。しかし、ここもお寺の痕跡はなく無住職ならぬ無寺院である。

理由は様々考えられるようだがハッキリしない。明治初期の神仏分離・宝永山の噴火・元々、神徒が多い地区など……。

ともかくお勤めは浅間神社境内で行った。境内の紅葉は見事だった。気がつかなかったが、小川も流れ風情を演出していた。





須走・浅間神社

鳥居には「不二山」とある



寺の跡？

5分程の七番札所・香積寺に向かう。ここにもお寺はない。お寺があったと思われる場所は現在、須走幼稚園になっている。

お寺を想定して幼稚園の方角を向いてお勤め。終わるころ園長さんらしき方がすっ飛んで来た。白装束の怪しげな団体！絶対、抗議を受けると思いきや、「ご苦労様で〜す」と優しいお言葉。感謝、有難かったです。

今日の巡礼はここまで。御胎内温泉に向かい温かい温泉を楽しみました。今日もありがとうございました。合掌

須  
走  
浅  
間  
神  
社

